

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた 市長メッセージ

市民の皆さん、秋田市長の穂積志です。

本市の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、今月に入ってから、オミクロン株による感染が急激に広がっており、昨日の26日には103人と初めて3桁台に上るなど、3日連続で過去最多を更新しました。

今月はこれまでに439人を数え、過去最多であった昨年8月の279人を大幅に上回るペースで推移しており、予断を許さない状況が続いています。

これまでの傾向を見ますと、年末から成人の日の3連休にかけては、県外由来や20代を中心とした若者による感染が多くありましたが、現在は、保育園や小学校、スポーツイベントなどでのクラスターが多発し、また、子どもから家庭、そして職場などへの感染が急拡大しており、本市でも全国同様、「第6波」に対する非常に強い危機感を感じているところです。

次に、感染拡大防止に係る本市の対応について、4点お話しいたします。

1点目は、ワクチンの接種についてであります。

3回目のワクチン接種については、国から、医療従事者や高齢者施設等の入所者などは、2回目の接種から6か月を経過した時点で可能とする方針が示されました。これを受けて、本市では市医師会など関係機関と調整し、既に接種を進めている医療従事者に加え、高齢者施設入所者等は、26日から前倒しして進めております。65歳以上の一般高齢者の方には、2月1日から接種券を順次発送し、2月9日から前倒しして、接種開始を予定しております。

2点目は、ワクチン未接種者への対応についてであります。

今般の全国的なオミクロン株による感染の急拡大により、接種を希望するワクチン未接種者からの問い合わせが増えてきたことから、2月16日、17日、19日、20日の4日間、1,200人分の予約枠を設定したところではありますが、予約がいっぱいになったことから、新たに1,200人分を追加募集いたします。1月31日から予約を開始いたしますので、希望される方は早めの接種をお願いいたします。

3点目は、保育園、学校などへの対応についてであります。

感染拡大傾向にある保育園や学校などについて、本市では、社会機能を維持するため、全市一斉の休園や休校は、現在のところ考えておりません。

また、本市が所管する子ども未来センターのプレイルームや子ども広場、各市民サービスセンターの子育て交流広場については、保育施設等でクラスターが発生するなど、さらなる感染拡大が見込まれることから、当面休止いたします。

さらに、市立小中学校の部活動についても、大会を控えているなどのやむを得ない場合を除き、2月4日まで活動を中止とし、スポーツ少年団は2月6日までの活動を全て中止といたします。

なお、オミクロン株による子どもの感染拡大を未然に防止するため、昨年9月に引き続き、市立学校や子育て関連施設などに抗原検査キットを追加配布いたします。

4点目は、自宅療養についてであります。

陽性者の感染急拡大を受けて、1月25日から自宅療養を開始いたしました。

対象者は、陽性者のうち無症状か軽症で重症化リスクが低い方などであり、自宅にパルスオキシメーターを送付するとともに、希望者に食料や日用品を配送します。現在、市保健所などにおいて、1日に2回の健康観察を行っており、体調が変化した場合の相談体制や救急搬送に備えた体制を構築しております。

現在、保健所職員を29人増員し、総勢96人体制で対応に当たっているところではありますが、今後、さらに感染が拡大した場合には、市役所機能に支障を来す恐れもあると考えております。

このため、私から、市民の皆さまに3つお願いがあります。

1つ目に、マスクの正しい着用、換気、手洗いといった基本的な感染対策を徹底してください。

**2つ目に、まん延防止等重点措置区域との不要不急の往来は控えてください。
また、感染が拡大している地域との往来も慎重にお願いします。**

3つ目に、不特定多数による会食は控えるなど、会食時の感染防止に十分注意してください。

ご協力をお願いいたします。

令和4年1月27日 秋田市長 穂積 志